

釧路南ロータリークラブ会報

第 35 回 例会 報告 2015.3.27 通算 1578 回

・点

鐘

長倉会長



ラブの友好クラブの新晋州RCとの間で通訳やら韓国へ同行やらと色々とお世話になっております。

2回戦以降も活躍して勝ち進んでいただきたいですし、皆様の応援もよろしくお願いいたします。

また、昨日、釧路東RCの川上会長よりご連絡があり、以前にもご案内させて頂いておりますが、東クラブが音頭をとって分区内でゴルフコンペをしようという事となっておりますが、5月31日日曜日の午後からのスタートという事で予定をしているようです。4月に入り詳細の打合せをし、どういう形でやるのかを決めたいとのことです。私も川上会長には、協力するし当日もお手伝いするお約束をしておりましたので、対応させていただきます。一応、現時点では、分区の事業ではなく分区内の親睦を目的とするという事となっております。是非当クラブからも多くの方々にご参加いただきますようお願いいたします。私もそれまでには、この肩を治してなんとか参加できるようにしたいと考えております。

・ロタリーソング

「手に手つないで」



ソングリーダー 工藤 ゆかり会員

・会長挨拶

皆さんこんにちは。ようやく釧路も少し暖かくなり、雪解けも進んでまいりました。甲子園では、選抜の高校野球が開催されております。北海道から出場の東海大四校が一回戦を勝ちましたが、4番バッター 広基選手は焼き肉ぎゅう太の邵さんの息子さんで、邵さんは当クラブとも関係が深く、韓国と当ク

・幹事報告

- * 釧路市市民憲章推進協議会より「平成26年度『市民憲章くしろ』」が届いておりますので、回覧してください。
- * RI 2500 地区より国際ロータリー年次大会の参加者募集が再度届いております。時間の都合のつくメンバーは参加をお願いいたします。

* R I 2500 地区より 4 月のロータリーレート連絡が入っております 1 ドル=118 円です。

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

奈良 清成会員 会社を法人化しました。

今後とも宜しくお願い致します。

・本日のプログラム

「ロータリー雑誌月間を前に」

担当 広報メディア委員会

◆長井一広委員長



・初期のロータリークラブ活動について

初期のロータリークラブ例会

初期ロータリークラブの活動の中に、現在のロータリークラブの大原則や一般的慣習になっているものが数多くあります。

- 1) 一業種一会員制
- 2) クラブ内での政治上および宗教上の論争の禁止
- 3) 会員は相互にファーストネームで呼び合う
日本以外のほとんどの国で行われています。これによって、皆が童心に還って心おきなく話し

合う雰囲気生まれたといわれています。日本でも東京クラブや大阪クラブで少し行われましたが、日本の慣習に親しまず、すぐに廃止されました。

4) 歌を合唱する

ハリー・ラグルスの提案。1906 年、社会に対する奉仕か、親睦・物質的相互扶助か、クラブ内で論争がおり、クラブ分裂の危機が訪れました。1907 年、突然ハリー・ラグルスが「諸君！！歌を唄おう」「Hell Fellows Sing」と呼びかけ、これがきっかけとなり大合唱となり、再び友愛の心を取り戻させ、人々は活動に専念するようになりました。

5) 特別な事情が無い限り、役職を 1 年で交替する

6) 卓話

当時のロータリー運動の中心は、会員相互の職業上の扶助であり、例会において職業上の色々な問題を語り合いました。経営上の問題、金融の問題、生産性向上の問題、労使の問題などを協議したり助言を与えたりしたことが「卓話」の慣例になりました。従って、卓話には会員相互の職業上の情報交換という意味があります。

7) 会合の時間厳守

ロータリアンは互いに忙しいため、その会合は定刻に行わなければならない。当時の日本人は時間にルーズだったため、日本社会においてロータリアンは時間を厳守することが周知され、ロータリアンの信用を高める一因となりました。クラブによっては遅刻者から罰金を取って、これを社会奉仕の一財源としているところもあります。

8) 例会で食事を共にする

1905年5月4日第6回の会合の時、遅刻してきたチ

ヤールズ・A・ニュートンをみんなが非難したところ、「忙しくて、朝から何も食べていないんだ。腹がへっていたので食事をとってきたのだ」と言い訳しました。それではこれからのクラブ例会ではみんなと一緒に食事をしよう、ということになりました。一度食事を共にしたら、互いに気分が開放的になり、より親しさが増しました。毎例会に食事を一緒にすることを始めたのは、1909年のカリフォルニア州オークランドクラブです。

9) 家族会

1907年、初代親睦委員長にネフ博士が任命され、彼の温和な性格と丁寧な物腰のため家族会は確立され慣例となりました。1907年の最大の家族会はネフ博士の労をねぎらうために彼を主賓として開かれました。

10) 会員名簿に写真を入れる

1908年に初めて写真入りの会員名簿が作成されました。このアイディアはシルヴェスター・シールが発案したと云われていますが、当時は写真を嫌がる人もいて、会員236人中写真を撮らせたのは65名にすぎなかったといわれています。1912年になり、大部分の人が写真を載せるようになりました。

11) 理事会の先議権

1909年のある日、木材商の会員が卓話をした時、木材建築こそが自然的建築構造であると説き、その話が優れていたため、他の会員が緊急動議で「レンガよりも木材の家屋が優れている」との決議を求め、可決されました。しかしそれが新聞に報道され、レンガ業界の猛反対にあいました。クラブ理事会は緊急会議を開き、今後一切の案件は理事会が先議した後に、総会に諮る

べきであるとの慣例が確立されました。

12) 例会場

6回目までの会合は会員の事務所で持ち回りで行っていました。7回目の会合は1905年5月18日にシカゴ郊外のイングルウッドにあるアルバート・L・ホワイトのオルガン工場で開かれることになっていましたが、イングルウッドでは遠過ぎるため、会員達は代わりに便利の良いホテルで行いました。それが大成功だったので、その後ホテルやレストランで会合を行うようになりました。当初は「持ち回り」の原則を堅持して例会場を変えていましたが、クラブが拡大され、メイクアップ制度ができるようになってから、例会場が固定されるようになりました。

例会開催の間隔

初期には他のクラブもシカゴクラブのように隔週で開催されていました。しかし1909年に創立された全米第3番目のオークランドクラブの例会は毎週でした。毎週例会のほうが親睦の機会が多くなり、クラブ活動が盛んになるということで、だんだん毎週例会に切り替えるクラブが多くなりました。1992年のロサンゼルス大会で、それ以降に創立されるクラブに対して「標準クラブ定款」の採用を義務付けた時、例会は毎週1回開催しなければならないことになりました。



・次回のプログラム

4月3日(金)

「クラブ協議会」

会場 釧路東急イン 12:30~

担当: 次年度会長・幹事

・点 鐘 長倉会長

今週の会報担当: 佐野実会員